

利根川栗橋流域水防事務組合

視察研修 2013年10月30日～31日

石田としはる

熊谷気象台

熊谷気象台は明治29年(1896)年12月1日に誕生 100年以上にわたって場所を移転することなく観測を続けている気象台です。

埼玉県内全域の気象や地震などの自然現象を24時間体制で観測しています。住宅に囲まれた場所にあり、以外な感じがしました。昨年度までは全国で一番高い気温を計測した場所として注目を浴び、テレビなどの取材もあったようです。



雨量を計測するのは意外とシンプルな計測方法でした。



電波を飛ばし、上空12000mの風速を
観測できる施設です。
金額は1億円近いとのこと。

私達の暮らしに欠かせない情報を提供していただいています。

テレビなどで報道されるデータがここで観測され、気象庁からNHKなど報道機関に。
感想としては、いろんなデータを見ればみるほど、地球温暖化の進行を感じました。

ハッ場ダム(やんばだむ)工事進捗状況視察

久喜市栗橋地区に沿って流れる利根川の支流、吾妻川の中流に建設されているダムです。昭和 22 年、カスリーン台風のあった年に計画が始まり現在に至っています。

コンクリートから人へ 民主党政権が誕生し、ストップしたハッ場ダムでしたが、平成 23 年 1 2 月建設大臣が「建設継続」を表明。再び息を吹き返して工事が進んでいます。

工期 平成 2 7 年度→平成 3 1 年度

事業費 約 4600 億円



家屋移転対象 470 世帯の内 440 世帯(94%)
付け替え国道(92%)
付け替え鉄道(90%)まで進んでいます。

ハッ場ダム本体工事の場所は、
自然の溪谷をなくして欲しくない
との声を受け、当初の計画より
上流部となりました。

「不動大橋(ふどうおおはし)」は、民主党政権でストップした橋です。十字架のまま残っていた映像を記憶されている方も多いのではないのでしょうか。

既に完成し、橋のもとには、道の駅「ハッ場ふるさと館」が完成し営業を始めています。平均で一日 65 万円前後の売上あれば採算がとれる予定が、この秋には 300 万前後の売上があったとの報告も。



完成後の状況を CG で絵にしたものです。



ハッ場ダムの必要性を検証してみると。

治水、利水に役立つハッ場ダムとして建設が進んでいますが、国土交通省の試算から、検証してみると、利水の点では、工業用水の契約事業者数が 30 年前 279～平成 24 年度では 158 と減り続けています。年間契約水量は 30 年前の 60% に減っています。水道用水も 5 年間で 1600 万 m³ 減少となっています。今後も人口減少や節水の取り組みから増加することは考えられません。

治水の点から、考えると、ヤンバダム付近で最近の洪水事例を見ると、1998 年 9 月の洪水で、八斗島地点のピーク流量は 9220 m³/秒です。この時の八斗島地点における、ハッ場ダムを作った場合の効果は、ダム建設付近で最大で 13 センチ、下流に行けば、川幅も広がりもっと下がり、八斗島地点では 8 センチ程度と推測されます。

ダムによる治水計画は、今後 10 以上のダムを造って完結する計画となっており、ハッ場ダムのみが完成しても効果は薄いと言えます。

見過ごせない点が、地盤が脆弱であることとともに、急斜面に溪谷は地すべりなどの懸念があること。

治水を真剣に考えるのであれば、費用対効果からしても、効果的な堤防強化することが求められているのではないのでしょうか。

視察 利根川ダム 統合管理事務所

利根川流域にあるダム全体を統合管理する事務所を視察しました。



利根川ダム統合管理事務所	貯水量 (千m ³)	貯水率 (%)
矢木沢ダム想定	849.68 →	114005 98.
相模ダム	871.39 →	56204 66.
藤原ダム想定	636.27 →	11605 37.
相模ダム	554.61 →	11363 56.
藤原ダム	547.16 ↓	1567 11.
下久保ダム	285.60 →	89672 74.
草木ダム	439.13 ↑	28628 56.
渡良瀬貯水池	15.02 →	26400 100.
5ダム計		194744 73.
8ダム計		339444 73.
矢木沢ダム	849.12 →	111373 83.
須田貝ダム	740.22 ↓	2632 83.
藤原ダム	633.35 →	8604 83.
玉原ダム	1166.34 →	9501 73.

利根川にどれだけの水量を流すか、その基準点が、久喜市栗橋地点になっていることを知りました。栗橋の地点の水位をどれぐらいに保つのかを決定して、利根川水系にある8つのダムを調整して水量を決めているとのことでした。

藤原ダムを視察



毎年5月頃、雪解け水が流れ込み満杯となり、4つの放流部門を、点検の為放流実施するとのこと。雪解け水が流れ込み、「溜まりやすいダム」として位置付けされています。夏、水不足としてダムの映像がテレビなどで放映されますが、多くの場合、水が溜まりにくいダムが水位が下がることから、「溜まりにくいダム」の映像が流されるようです。

実際には、利根川流域全体のダム水量を見ると、思っているよりも水量はあると考えられます。